

第1会場（出島メッセ長崎 1F 会議室 101 B + C）

9:00-10:00 シンポジウム 6：遠隔医療教育シンポジウム

「『遠隔医療教育』として、遠隔から専門医が技術指導・研修するテーマ」

座長：森山 智彦（九州大学病院 国際医療部）

TSY6-1 長崎県の離島病院に対する遠隔専門診療支援

辻野 彰（長崎大学病院）

TSY6-2 ローカル 5G と 4K 内視鏡を用いた双方向遠隔システム構想と高度医療人材養成への挑戦 —離島・へき地における持続可能な教育モデルの確立を目指して—

山口 直之（長崎大学病院 消化器内科（光学医療診療部））

TSY6-3 国を跨いだ遠隔医療教育と UHC への貢献

森山 智彦（九州大学病院 国際医療部）

10:00-10:50 招待講演 3

座長：吉嶺 裕之（社会医療法人春回会 井上病院）

医療 AI と IT：症例に基づく臨床医学の構築

永井 良三（自治医科大学）

11:00-11:50 大会長講演

座長：郡 隆之（利根中央病院 外科）

目の前にいない患者に最良の医療を

吉嶺 裕之（日本遠隔医療学会）

12:00-13:00 ランチョンセミナー 3

共催：帝人ファーマ株式会社／JMS 帝人ホームメディカルケア株式会社

「腹膜透析領域における遠隔診療」

座長：西野 友哉（長崎大学病院 腎臓内科）

腹膜透析における遠隔モニタリング医療の現在地 そして将来の展望

原田 健司（平成紫川会 小倉記念病院 腎臓内科）

13:20-14:45 公募シンポジウム 1

「専門性を求められる疾病の生涯にわたる管理

～血友病をモデルとした遠隔医療による負担解消と生涯にわたる生活の質の向上」

座長：竹内 公一（松戸保健所）

白幡 聡（北九州八幡東病院）

SY1-1 愛媛県における血友病診療連携と遠隔診療連携の試み

山之内 純（愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部）

**SY1-2 地域医療体制の補完を目指したオンライン診療の適正活用と連携構築**

田村 健蔵（株式会社ジェイエムインテグラル）

**SY1-3 移行期医療の現状と生涯をみすえた専門診療**

～ ICT 活用の可能性と現場からの課題～

日野 もえ子（千葉大学医学部附属病院小児科・移行期医療支援センター）

**SY1-4 SW の視点からみる血友病患者の移行期支援のポイントと遠隔医療の可能性**

横内 宣敬（千葉大学医学部附属病院 患者支援部）

**15:00-16:30 公募シンポジウム 2**

**「初期救急領域におけるオンライン診療活用の取り組みと現状」**

座長：原田 昌範（山口県立総合医療センター へき地医療支援センター）

古城 隆雄（埼玉県立大学）

**SY2-1 遠隔医療の救急医療への応用：課題・期待・制度**

間中 勝則（厚生労働省医政局総務課）

**SY2-2 都市部における小児科一次救急でのオンライン診療の活用**

吉成 勇一朗（福島市保健所）

**SY2-3 防府市の休日診療所におけるオンライン診療の取り組み**

山本 一成（防府医師会）

**SY2-4 ふるさとの医療をオンライン診療で支える**

田村 健蔵（同善病院、株式会社ジェイエムインテグラル）

|                                     |
|-------------------------------------|
| <b>第 2 会場（出島メッセ長崎 1F 会議室 101 A）</b> |
|-------------------------------------|

**13:30-14:40 一般演題 B6**

**「健康管理・モニタリング」**

座長：片桐 洋樹（獨協医科大学埼玉医療センター整形外科）

野村 章洋（金沢大学融合研究域融合科学系）

**B6-1 健康サポート IoT アプリケーション Koji Awareness™ による遠隔介入の身体機能に及ぼす影響**

片桐 洋樹（獨協医科大学埼玉医療センター整形外科）

**B6-2 IoT アプリケーション「Koji Awareness™」における遠隔介入のためのアプリ UX 設計・セキュリティ対策・利用分**

宮腰 行生（株式会社アクシス）

**B6-3 運動介入方法の違いが運動器機能と疼痛に与える効果  
- IoT アプリ Koji Awareness の遠隔介入と対面指導の比較 -**

室伏 広治（東京科学大学）

**B6-4 在宅 CPAP 治療の遠隔モニタリングに関する検討**

平 貴子（日本赤十字社長崎原爆諫早病院 医療技術部）

**B6-5 在宅高齢者に対する見守り機器導入に関するニーズ調査**

黒澤 栄司（高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科）

**B6-6 睡眠時無呼吸症候群に対する CPAP 治療とオンライン診療の継続利用効果：**

**[YIA] リアルワールドデータを用いた後向きコホート研究**

木下 琢也（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療情報学分野）

**B6-7 訪問看護における遠隔モニタリングシステム実装による家族への効果と課題**

**—スマートウォッチと非接触型センサーを用いた質的検討**

天谷 尚子（和洋女子大学）

**14:50-16:10 一般演題 B7**

**「システム」**

座長：真原 仁（武蔵野大学）

工藤 孔梨子（九州大学病院 国際医療部 アジア遠隔医療開発センター）

**B7-1 スマートフォン用滅菌透明収納袋の開発**

櫻澤 信行（日本医科大学付属病院 消化器外科）

**B7-2 AI を用いた胎児心拍数モニタリングにおけるポジショニング支援技術の開発**

**[YIA]** 廣野 悠太（トーイツ株式会社）

**B7-3 医療 ICT を用いた遠隔集中治療システムの開発と実装**

山田 敏之（名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院 心臓血管外科）

**B7-4 小児血液・腫瘍診療における LINE オープンチャットを用いた専門医相談支援の  
実践と課題**

日野 もえ子（千葉大学医学部附属病院小児科）

**B7-5 医療情報交換におけるプライバシー保護機能に関するナラティブレビュー**

大坪 徹也（秋田大学大学院医学系研究科 医療情報学講座）

**B7-6 災害時遠隔医療利用に向けた低軌道衛星通信システムの基礎評価**

長滝 ももか（東京都立大学大学院）

**B7-7 デルファイ法を用いた医師間遠隔医療を技術サポートするために必要なスキルと  
能力の策定**

工藤 孔梨子（九州大学病院 国際医療部 アジア遠隔医療開発センター）

**B7-8 九州大学病院における海外遠隔医療相談のオンライン接続に関する現状分析**

久田 由紀子（九州大学病院国際医療部アジア遠隔医療開発センター）

|                                 |
|---------------------------------|
| <b>第3会場（出島メッセ長崎 1F 会議室 102）</b> |
|---------------------------------|

**9:00-9:55 分科会セッション3：オンライン服薬指導分科会**

**「先進事例に学ぶオンライン服薬指導普及のポイント」**

座長：狭間 研至（ファルメディコ株式会社）

**SC3-1 先進事例に学ぶオンライン服薬指導普及のポイント**

狭間 研至（ファルメディコ株式会社）

SC3-2 異業種からのオンライン薬局参入

田口 健太 (KDDI 株式会社)

SC3-3 オンライン服薬指導による、へき地医療の課題解決

増田 幸司 (日本調剤株式会社)

SC3-4 指定発言

徳弘 雅世 (厚生労働省 医薬局 電子処方箋サービス推進室)

11:00-11:50 シンポジウム 7：デジタルパソロジー シンポジウム

「テレパソロジーからデジタルパソロジーへ、デジタル技術と病理診断」

座長：東福寺 幾夫 (高崎健康福祉大学)

TSY7-1 テレパソロジーからデジタルパソロジーへ

東福寺 幾夫 (高崎健康福祉大学)

TSY7-2 国際遠隔病理診断を含めたデジタルパソロジーの事例紹介とその実績

森 一郎 (国際医療福祉大学医学部病理)

TSY7-3 病理診断のパラダイムシフト：AIによる次世代診断の可能性

福岡 順也 (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 情報病理学分野)

13:20-14:45 分科会セッション 4：テレナーシング分科会

「多様な専門性を活かした遠隔支援」

座長：亀井 智子 (聖路加国際大学)

加澤 佳奈 (岡山大学学術研究院保健学域)

多職種による遠隔支援の現在地と未来—専門性・エビデンス・実装をつなぐ

亀井 智子 (聖路加国際大学)

SC4-1 歯科遠隔医療と歯科医療 MaaS

長縄 拓哉 (歯科遠隔医療分科会)

SC4-2 AIを活用した看護アセスメントと看護技術の遠隔支援

仲上 豪二郎 (東京大学大学院医学系研究科老年看護学／創傷看護学  
分野)

SC4-3 遠隔リハビリテーションの可能性と展望：実践と課題からみた将来像

神津 玲 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

SC4-4 慢性疾患をもつ在宅療養高齢者へのテレナーシング支援とテレナース教育

亀井 智子 (聖路加国際大学)

15:00-16:00 分科会セッション 5：睡眠遠隔医療分科会

座長：千葉 伸太郎 (太田睡眠科学センター)

SC5-1 遠隔医療を用いた睡眠検査と検査技師育成

柿田 康一 (社会医療法人春回会 井上病院 睡眠センター)

SC5-2 その他の睡眠障害の遠隔医療連携

林田 健一 (スリープ・サポートクリニック)

### SC5-3 睡眠時無呼吸の遠隔医療連携

千葉 伸太郎（太田睡眠科学センター）

## 第4会場（出島メッセ長崎 1F 会議室 103）

### 9:00-10:00 分科会セッション6：周産期医療分科会

#### 「遠隔周産期ケアの現状と未来展望」

座長：鈴木 真（社会医療友愛会 TQM 推進室）

#### SC6-1 遠隔妊婦健診の構築と社会実装に向けて

- 地域格差解消と持続可能な体制を目指して -

鈴木 真（社会医療友愛会 TQM 推進室）

#### SC6-2 妊婦健診におけるデジタルデバイスを使用した遠隔診療の実態

～全国一次調査・二次調査を踏まえて～

末光 徳匡（東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座）

#### SC6-3 医療アクセス格差の是正に向けた産科遠隔診療の挑戦

小野寺 洋平（秋田大学大学院医学系研究科医学専攻 機能展開医学系  
産婦人科学講座）

#### SC6-4 周産期遠隔医療と妊婦・乳幼児健診情報の利活用における現状

牧 尉太（岡山大学 学術研究院医療開発領域 新医療研究開発センター）

### 11:00-12:00 公募シンポジウム3

#### 「心不全（循環器領域）の遠隔モニタリング」

座長：長谷川 高志（日本遠隔医療協会）

#### SY3-1 在宅慢性心不全患者に対する RST ガイドによる新しい遠隔モニタリング管理

麻野井 英次（富山西総合病院）

#### SY3-2 都島区医師会での ICT を活用した多施設多職種連携の取り組み

竹谷 哲（一般社団法人都島区医師会）

#### SY3-3 非拘束式・体動センサ（眠り SCAN<sup>®</sup>）を用いた在宅療養患者の遠隔モニタリング システムの社会実装を目指す挑戦

水上 渉（パラマウントベッド株式会社）

### 12:10-13:10 ランチョンセミナー4 共催：株式会社 MAGnet / 西川株式会社

#### 「睡眠医療における遠隔管理とセルフケア」

座長：吉嶺 裕之（社会医療法人春回会 井上病院）

#### IoT を活用した最新 SAS 診療

成井 浩司（医療法人順齡會 赤坂おだやかクリニック）

### 13:20-14:15 分科会セッション7：精神科遠隔医療分科会

座長：岸本 泰士郎（慶應義塾大学）

SC7-1 離島の精神科医療の現状、オンライン診療の必要性

中村 雅之（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 精神機能病学分野）

SC7-2 都市部における精神科オンライン診療の現状と今後の可能性

高橋 一志（東京女子医科大学 八千代医療センター 心身医療科）

SC7-3 精神科領域におけるオンライン診療の手引書策定

岸本 泰士郎（慶應義塾大学）

SC7-4 ロボットを介した未来の医療予想図

熊崎 博一（長崎大学医学部精神神経科学教室）

14:30-15:25 分科会セッション8：遠隔 ICU 分科会

「地域医療再編×デジタル革新」

座長：高木 俊介（横浜市立大学附属病院 集中治療部）

SC8-1 地域医療構想と遠隔医療

～統合再編期を迎えた病院のリアル×バーチャルの統合再編への示唆～

松田 淳（KPMG ヘルスケアジャパン株式会社）

SC8-2 ベトナムの医療事情と遠隔 ICU の必要性 ―日本及び他国との比較を通して

佐々木 留美（ブライトン国際医療企画）

SC8-3 デジタル×アナログで創る地域医療の未来：

吉備中央町「デジタル田園健康特区」の現場から

夏井 淳一（バーズ・ビュー株式会社）

SC8-4 遠隔 ICU が拓く AI による持続可能な医療モデルとは

田中 正視（株式会社 CROSS SYNC）